

# 日本赤十字社熊本健康管理センター が担う役割について

平成31年 3月  
日本赤十字社熊本健康管理センター

# 1 現状と課題

## 【日赤熊本健康管理センターの現状】

### 基本理念

Health for All, All for Health

～すべての人に健康を、健康に全力を～

### 基本方針

一次・二次・三次予防の包括的な健康支援  
生涯を通じた健康支援  
受診者第一主義の健康支援  
新たな予防医学システムの構築  
教育研修機関としての使命と役割

**日本赤十字社唯一の独立した予防医学専門施設**

# 1 現状と課題

## 【日赤熊本健康管理センターの現状】

### 事業概要

昭和53年の設立以来、赤十字の「人道、博愛」の精神の下、「Health for All, All for Health-すべての人に健康を、健康に全力を-」の理念を基に、常に最新の設備と専門のスタッフにより、人間ドックをはじめとする生活習慣病健診やがん検診などの**健康管理事業**のほか、生活習慣病予防のための啓発や健康増進を目的とする**健康支援事業**、**外来診療事業**に取り組んでいます。

赤十字の大きな使命である救援活動も、医療活動のみならず、センターの特色を生かした保健活動として取り組んでいます。

# 1 現状と課題

## 【日赤健康管理センターの現状】

病床数 一般19床

診療科 内科・婦人科・歯科・放射線科

職員構成（総数338名）

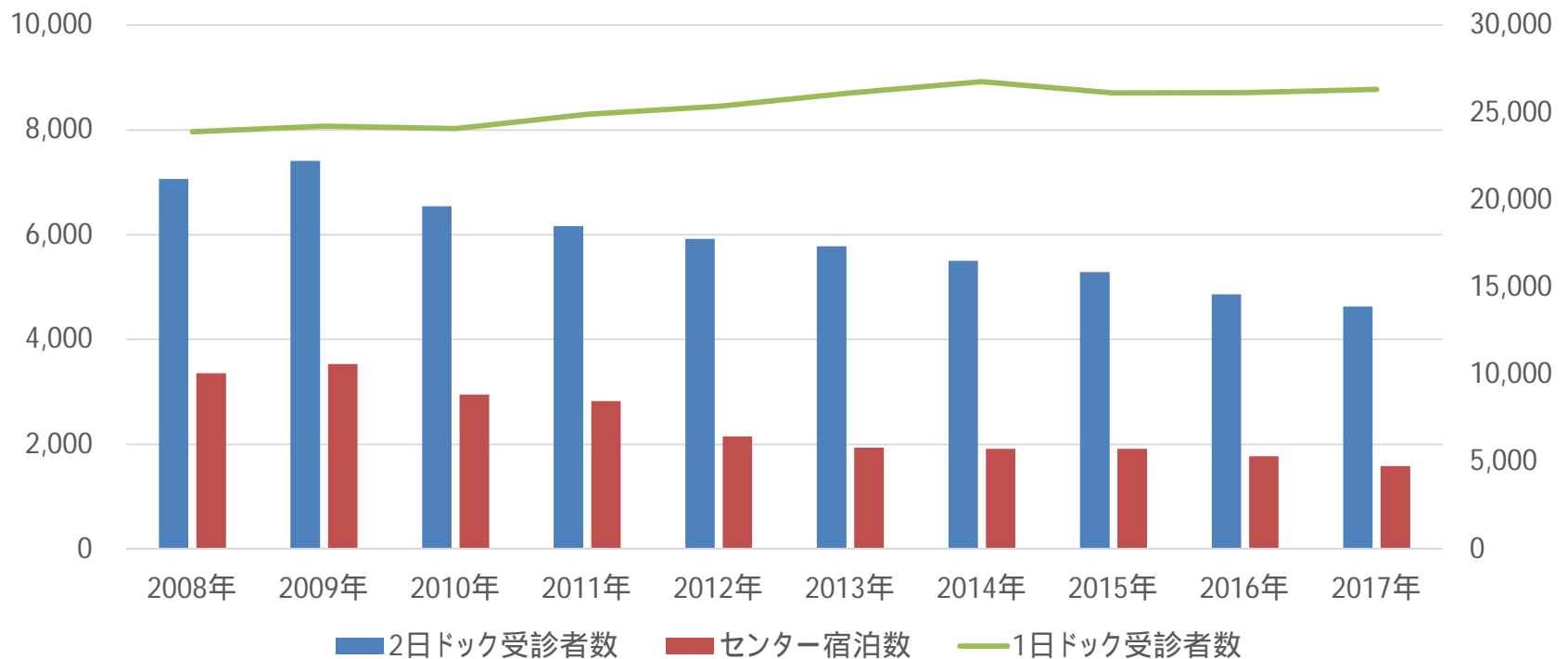
2019/2/4現在

職種	正・嘱託職員	臨時・パート	計
事務職	86	62	148
医師	9	10	19
医療職	82	15	97
保健師・看護職	45	29	74

# 1 現状と課題

## 【日赤健康管理センターの現状】

### 人間ドック実績

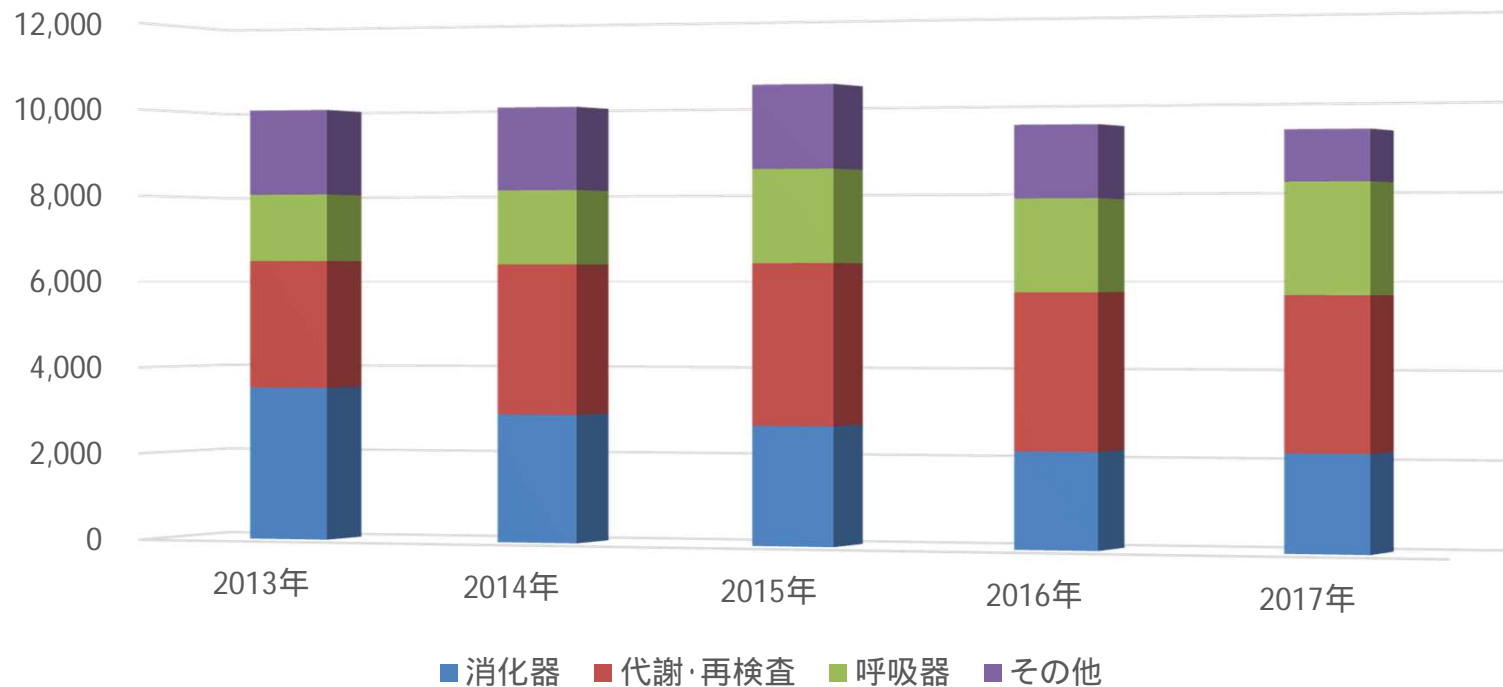


病床として2日ドックセンター宿泊者は年間2,000名程度であり、  
1日当たり14床を使用

# 1 現状と課題

## 【日赤健康管理センターの現状】

### 外来診療実績



年間の外来受診者数は10,000名程で、8割程度がドック・健診に関連した患者である

## 2 今後の方針

### 【地域において今後担うべき役割】

今後も継続して県民の健康を守る

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

#### 【 4 機能ごとの病床のあり方 その1 】

単位：床

病床機能	2018年(平成30年)	2025年
高度急性期		
急性期		
回復期		
慢性期		
その他 2日ドック宿泊として 使用	19	19
合 計	19	19



### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

#### 【 4 機能ごとの病床のあり方 その2 】

今後についても、病床利用としては2日ドック利用者の宿泊として運用する。

### 3 具体的な計画

#### (1) 今後提供する医療機能に関する事項

##### 【 診療科の見直し】

	現時点 (平成31年1月時点)	2025年	理由・方策
維持	内科・婦人科 歯科・放射線科	内科・婦人科 歯科・放射線科	変更なし
新設			
廃止			
変更・統合			

外来診療患者は内科のみ

### 3 具体的な計画 (2) 数値目標

## 報告事項なし

	現時点( 年 月時点)	2025年
病床稼働率		
紹介率		
逆紹介率		

### 3 具体的な計画

#### (3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

##### 【取組みと課題】

別になし

## 4 その他特記事項

### 【熊本赤十字病院との連携】

貯骨つとセミナーを熊本赤十字病院と連携し開催

日時 平成31年3月9日（土） 10:00～14:00

会場 西部ガスショールームヒナタ熊本

対象 どなたでも

内容 運動指導士講話・実技、管理栄養士講話

講師 日赤熊本健康管理センター

運動指導士、管理栄養士

熊本赤十字病院

医師

申込み 熊本赤十字病院外来業務課

ビジョン

これからも地域社会から選ばれ続ける予防医学施設を目指す